

# 第30回東京都武術太極拳選手権大会 開催要綱

2022年10月11日

## 開催趣旨：

東京都在住の都民を対象にして、公益社団法人日本武術太極拳連盟が主催する「第40回全日本武術太極拳選手権大会」の太極拳個人種目、集団、対練、太極拳推手規定套路の東京都代表選手、代表チ-ム選抜、および厚生労働省等が主催する「第35回全国健康福祉祭ねんりんピック笑顔のえひめ2023」の東京都代表選抜競技を第30回東京都選手権大会の競技種目として実施する。

今大会では、**団体競技と個人競技の開催日程、会場が異なるので十分注意して下さい。**

	団体競技 (集団・対練・推手・ねんりんピック)	個人競技 (全日本大会太極拳個人種目・70歳以上特別競技)
1. 日時	2023年2月26日(日) 午前9:30~午後7:00(予定)	2023年3月21日(火・祝) 午前9:30~午後7:00(予定)
2. 会場	「中央区立総合スポ-ツセンタ-」 メインアリーナ 中央区日本橋浜町2丁目59番1号 03-3666-1501 (交通：地下鉄都営線「浜町」駅下車徒歩3分、地下鉄日比谷線「人形町」駅下車徒歩10分)	「駒沢オリンピック公園総合運動場」 屋内球技場 東京都世田谷区駒沢公園1番1号 03-3421-6199 (交通：田園都市線「駒沢大学駅」徒歩25分、東急バス「駒沢公園東口」、「東京医療センター」下車)

3. 主催： NPO法人東京都武術太極拳連盟

4. 主管： 中央区太極拳連盟 世田谷区武術太極拳連盟

5. 後援： 公益社団法人日本武術太極拳連盟・東京都・中央区・中央区体育協会・世田谷区・世田谷区スポーツ振興財団(予定)

6. 出場選手： 東京都に在住する東京都武術太極拳連盟加盟団体の所属会員および非加盟団体の会員

7. 実施種目： 2月26日は2コート、3月21日は4コートで下記の種目を実施する(予定)。

## 《1》実施種目；

1) 「第35回全国健康福祉祭・ねんりんピック笑顔のえひめ2023」都代表選抜・集団競技；

- 24式太極拳の動作による集団演技(音楽伴奏付き)、満60歳以上、1チ-ム6人または7人で編成。演技時間4分以内。この競技に使用する音楽CDは、2022年11月25日(金)の最終出場申込み期限までに最終出場申込書類とともに東京都連盟事務局に提出しなければならない。同期日以降の音楽CDの変更・差し替えはできないものとする。
- 都連盟加盟団体または非加盟団体は1チ-ムに限って出場させることができる。
- 最高得点チ-ム、1チ-ムを都代表チ-ムに選抜し、次点チ-ムを補欠チ-ムとする予定。尚、選抜数は状況に応じて変更の可能性あり。
- 「ねんりんピック秋田2017」より服装規定が「ねんりんピック栃木2014」まで行っていた従来の規定に変更されているので注意すること。

2) 「第40回全日本選手権大会」太極拳個人種目；

- 下記(1)・(3)の3種目、男女の**第1位各1名**、男女計6名を、都代表に選抜する。各種目の次点選手を補欠選手とする。

(1) 24式太極拳A = 満60歳以上、 演技時間4分以上6分未満

(2) 24式太極拳 B = 満40歳以上59歳以下、演技時間4分以上6分未満

(3) 24式太極拳 C = 満39歳以下、演技時間4分以上6分未満

- 下記の(4)~(13)の10種目、男女計20種目を実施し、そのうち(4)~(11)の8種目各種目の上位2名、男女計32名を都代表選手に選抜する。(12)(13)の種目についての代表選抜は行なわない。

(4) 総合太極拳 A B (満30歳以上)、演技時間5分以上6分未満

(5) 同 C (満29歳以下)、同上

(6) 太極剣・刀(32式、42式太極剣を含むすべての太極剣・刀)、演技時間2分以上4分未満

(7) 48式太極拳、・88式太極拳、演技時間3分以上4分未満

(8) 楊式太極拳、同上

(9) 陳式太極拳、同上

(10) 呉式太極拳、同上

(11) 孫式太極拳、同上

(12) ジュニア太極拳 2 (18歳以下) 演技時間 3 分未満

(13) ジュニア太極拳 1 (中学生以下) 演技時間 3 分未満

### 3) 「全日本選手権大会」団体競技種目の競技；

下記の団体競技種目計3種目を実施し、対練は上位3チーム、集団及び太極拳推手規定套路は上位1チームを都代表チームに選抜する。

(1) 対練 = 2人または3人で、徒手または器械で格闘形式の演技。演技時間40秒以上2分未満。

(2) 集団 = 4人以上10人までで、徒手または器械の集団演技。演技時間1分以上4分未満。

(3) 太極拳推手規定套路 = 2人1組でアジア武術連盟制定の推手規定套路を全套路演技。演技時間4分以上6分未満。

### 4) 70歳以上特別競技

全日本選手権大会個人種目以外に、高齢者を対象とした次の種目を70歳以上特別競技として設ける。

(1) 24式太極拳70歳代 A = 満70歳以上74歳以下 演技時間4分以上6分未満

(2) 24式太極拳70歳代 B = 満75歳以上79歳以下 演技時間4分以上6分未満

(3) 24式太極拳80歳以上 = 満80歳以上、演技時間4分以上6分未満

この部門は「全日本選手権大会」の代表選抜を目的としたものではなく、種目制限にあるように、他種目との重複出場はできないので注意のこと

- 5) 2022年第39回全日本選手権大会で実施されなかった種目について、2019年第36回全日本選手権大会で獲得したシード権は2023年第40回全日本選手権大会に移行可とする。尚、出場選手は「2023年4月1日現在の満年齢」で年齢区分が変更となった場合、2023年第40回全日本選手権大会の年齢枠で出場となる。

第39回全日本選手権大会の太極拳個人種目の成績により「第40回大会シード選手」の指定を受けた選手は、本大会において当該シード種目にエントリーすることはできない。

上記の選手は、本大会において当該シード種目以外の太極拳個人種目にエントリーすることができる。本大会で当該シード種目以外の種目の成績が、都代表に該当することになった場合は、本大会の表彰式までに、元のシード権を放棄して本大会の参加種目の都代表となるか、あるいは元のシード種目を選択して本大会の都代表権を放棄するかのいずれかを本大会表彰式までに表明しなければならない。

#### ジュニア太極拳 2・1 について

第40回全日本選手権大会において実施される予定のジュニア太極拳 2 については、本大会で競技種目として実施するが、代表選抜は行わない。この種目で全日本選手権に参加する場合は日本連盟から発表される全日本選手権大会の要綱に基づき別途エントリーを行うこととなる。尚、ジュニア太極拳 1 は第35回全日本選手権大会より競技種目として実施されていない。

### 6) 国民体育大会・東京都代表選手選抜の競技について

2023年開催の国民体育大会・公開競技について、東京都代表選手の選抜競技は2月26日に中央区総合スポーツセンターにて本大会の集団競技とあわせて実施する。

## 《2》 出場規定；

年齢規定；上記の1)、2)及び4)で、年齢規定のある種目はすべて、2023年4月1日現在の満年齢に基づくものとする。年齢規定に適合しない選手の出場申込書は受理されない。

1) 在住地規定；

《1》- 1) 「第35回全国健康福祉祭・ねんりんピック笑顔のえひめ2023」の出場チームの構成選手は全員東京都内に現住所を有する者でなければならない。

《 》- 2) 「第40回全日本選手権大会」太極拳個人種目の出場選手は、住民票に記載されている現住所が東京都内にあり、2023年4月1日まで引き続き東京都内に居住する予定の者でなければならない。代表選抜が決定した後に、2023年4月1日までの間に東京都外に移転することになった場合は、全日本選手権大会運営委員会宛に「移転証明書」を提出しなければならない。

虚偽の現住所申告による出場に対する制裁；上記の規定にもかかわらず、偽りの現住所を申告して本大会に出場した場合は、その選手の所属団体および選手本人に対して、制裁金を課し、以後の大会の出場停止等の制裁措置をとるものとする。

「第40回全日本選手権大会」団体競技種目；

「対練」(2-3人)、「集団」(4-10人)、「推手規定套路」(2人)の各種目は、各チ-ム構成選手のうち少なくとも1人以上が、上記の太極拳個人種目に定める在住地規定に基づいて東京都内に現住所を有する者でなければならない。日本連盟の全日本選手権大会開催要綱の「集団競技種目の出場選手変更規定」に基づいて出場選手の変更を行った場合も、残る選手のうち少なくとも1人以上が東京都内に現住所を有するものでなければならない。

3) 出場種目数の制限；

- 「第40回全日本選手権大会」太極拳個人種目は、選手一人1種目以内を限度として出場することができる。この部門にエントリーした選手は70歳以上特別競技にエントリーすることができない。
- 70歳以上特別競技にエントリーした選手は「第40回全日本選手権大会」太極拳個人種目に重複してエントリーすることはできない。ただし、団体競技についてはこの制限は設けない。
- 本大会で「第40回全日本選手権大会」太極拳個人種目の代表となった選手は伝統競技部門にエントリーすることができない。そのため、伝統競技部門に出場を希望する選手は本大会申込時にあらかじめ申込書に記入の上エントリーし、代表選手に選抜された場合には、本大会の表彰式までに、伝統競技部門を放棄して本大会の参加種目の都代表となるか、あるいは元の伝統競技部門を選択して本大会の都代表権を放棄するかのいずれかを本大会表彰式までに表明しなければならない。
- 本大会で「第40回全日本選手権大会」太極拳個人種目の代表となった選手は「ジュニア太極拳3及び2」にも重複してエントリーすることができない。そのため、「ジュニア太極拳3及び2」に出場を希望する選手は本大会申込時にあらかじめ申込書に記入の上エントリーし、代表選手に選抜された場合には、本大会の表彰式までに、「ジュニア太極拳3及び2」を放棄して本大会の参加種目の都代表となるか、あるいは元の「ジュニア太極拳3及び2」を選択して本大会の都代表権を放棄するかのいずれかを本大会表彰式までに表明しなければならない。
- 本大会では「ジュニア太極拳2及び1」は他の太極拳個人種目に加えて出場することが出来る。ただし、「ジュニア太極拳2と1」に重複して出場することは出来ない。
- 「第40回全日本選手権大会」団体競技種目は、参加団体1団体について；  
対練3チ-ム以内、集団3チ-ム以内、推手規定套路3チ-ム以内、を限度として出場することができるものとする。
- 団体競技については、一人の選手は「集団」と「推手規定套路」及び「対練」のうち、いずれか1種目に限って出場することができる。従来の「対練」出場選手が別途、他の団体競技種目に出場できる規定は廃止されているので注意すること。
- 一人の選手は「集団」の複数チームに重複して出場することは出来ない。

4) 参加団体分担金および出場料；

分担金；本大会に選手を出場させる本連盟または日本連盟の加盟団体は、大会分担金2万円を拠出する。（日本連盟の加盟団体とは都道府県連盟と学生連盟をいう。）

本大会に選手を出場させる本連盟または日本連盟の非加盟団体は、大会分担金4万円を拠出する。

個人競技出場料；

- 第20回大会よりゼッケンを導入したため、一人の選手につきゼッケン代500円を出場料に加えるものとする（2つの個人競技種目に重複して申込を行った際、ゼッケン代金を重複して支払う必要はない）。
- 本連盟または日本連盟加盟団体で2万円の大会分担金を拠出した団体の所属会員の出場料は、1人1種目について5千500円とする。
- 本連盟また日本連盟の非加盟団体で4万円の大会分担金を拠出した団体の所属会員の出場料は、1人1種目について9千500円とする。

\* 大会プログラム上では団体名ではなく個人として表示する。



- 1) 選手権大会 最終出場申込み期限 = 2022年11月25日(金);  
 参加団体および個人出場選手は、下記の東京都連盟事務局に、2022年11月25日(金)まで  
 に必着するように、次の書類を送付する。  
 「最終出場申込書<個人競技>」、「最終出場申込書<団体競技>」、「一括申込書」

第18回大会より予備エントリー制度は廃止されている。参加申し込み後の種目変更は認められないので、各団体及び参加者は、申し込み時に十分な確認を行った後、申込書を提出するよう、徹底すること。

- 2) 分担金、出場料の納付;  
 選手権大会の分担金および出場料は、参加団体が一括して、2022年11月28日(月)～12月2日(金)までの間に、下記の指定銀行口座に振り込む。

申込書送付先/問い合わせ先;  
 東京都武術太極拳連盟  
 事務所 〒104-0041 中央区新富1-6-14  
 03-5566-9366 fax03-5566-8366  
 指定振込み口座  
 りそな銀行・東京中央支店  
 口座番号; 普通預金5738814 口座名義; 東京都武術太極拳連盟

付表：第29回都選手権大会 出場料等一覧

		都連盟加盟団体	都連盟非加盟団体	個人出場
分 担 金		2万円	4万円	分担金無し
出 場 料	個人種目(1人)	5千5百円	9千5百円	2万1千5百円
	ねんりん(1疋-4)	9千円	1万7千円	無し
	集 団 (1疋-4)	9千円	1万7千円	無し
	対 練 (1疋-4)	6千円	1万1千円	無し
	推 手 (1疋-4)	6千円	1万1千円	無し

個人種目のゼッケン代金については本要綱《2》の4)の を参照のこと

以 上

- 添付書類; 「<個人競技>最終出場申込書」(1部 複写して使用)  
 「<団体競技>最終出場申込書」(1部 複写して使用)  
 「最終出場一括申込書」(1部)